

令和7年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和7年(2025年)6月26日(火)10:00～11:30
- 会 場 横須賀市役所 3号館3階 301 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50音順) 9名
石渡淳史、笥修一、加藤明成、鎌原徳宗、東海林義勝、佐野美智子
林但、平井慶一郎、米本篤子
- 事務局 文化スポーツ観光部 安田憲二部長
スポーツ振興課 高橋哲也 課長、飯田武伸係長、飯島良太主査
小谷大吾 係長、遠藤創太郎主任
教育委員会事務局学校教育部保健体育課 小田耕生課長、津田尊夫係長
- 傍聴者 0名
- 議事内容 開会
1 横須賀市あいさつ
2 諮問
3 議題
(1)令和7年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について
(2)令和7年度スポーツ関係事業概要について
(3)令和7年度スポーツ関係事業(予定)について
(4)横須賀市スポーツ推進計画の策定について
4 報告事項
「横須賀市が設置する学校に係る部活動に関する方針」の改定について
5 意見交換
- 資料 1 令和7年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定について
2 令和7年度スポーツ関係事業概要
3 令和7年度スポーツ関係事業(予定)
4 横須賀市スポーツ推進計画 令和5年(2023年)3月中間見直し
5 (仮)横須賀市スポーツ振興条例(案)全体像
6 横須賀市が設置する学校に係る部活動に関する方針

【開 会】

事務局が令和7年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 横須賀市あいさつ

安田文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

2 諮問

安田部長(市長代理))が諮問書を読み上げ、委員長へ諮問

(安田部長は別公務のため、退席)

● 委員変更について

横須賀市スポーツ協会の役職変更に伴い、柏木雅一氏から石渡淳史氏への委員変更を報告

● 事務局の職員紹介について

事務局の職員を紹介

● 定足数の確認

12名の委員のうち9名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく過半数を超えていることから、会議は成立となった。

● 傍聴者の確認

傍聴者なし

3 議題

(1) 令和7年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について

● 概要説明

事務局が資料1をもとに説明した。

● 審議・意見交換

・なし

(2) 令和7年度スポーツ関係事業概要について

● 概要説明

・事務局が資料2をもとに説明した。

● 審議・意見交換

☐ 委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたら、お願いいたします。

☐ 委員

スポーツ基金積立金について、地域の活性化のためにふるさと納税が使われていると聞

いているが、どのような内容に使われているか。

中学校の部活動指導員について、5人から7人になったということだが、どのような方が増えたのか、元々やられていた方なのか、指導員になられた方はどのような方なのか教えてほしい。

□ 事務局

スポーツ基金積立金は、ふるさと納税の内、スポーツに関する分野への寄附額を予想し、その見込額を予算計上し、最終的な寄附額をスポーツ基金に積み立てるものである。使い道としては、スポーツ振興課の事業では、国・県への選手派遣事業、ホームタウンチーム活動推進事業、体育会館運営事務費、文化スポーツ観光部の別の課の事業であるエンターテインメント推進事業や大規模スポーツ大会等誘致事業に活用している。

□ 事務局

中学校の部活動指導員については、教員の代わりに部活動の運営・指導をする立場で、会計年度任用職員である。学校現場に精通し、理解があり、支援に協力的でノウハウを持つ方が学校から推薦される。現在は元教員の方を7名採用している。

□ 委員

プロスポーツふれあいプロジェクトで、約4300万円の予算があるが、具体的にはどのように使っているか教えてほしい。

学校体育関係の中学校運営費の中で、学校に水泳プールがないところはイトマンスイミングスクールに実施委託をしているということですが、水泳プールがあるところは誰が水泳を教えているか。

□ 事務局

プロスポーツふれあいプロジェクトについては、横浜DeNAベイスターズと横浜F・マリノスがホームタウンとして活動する中で、両チームの選手やコーチによる学校訪問、ベイスターズでは新入団選手の歓迎式、PRにかかる費用、マリノスでは人工芝を回収し、再利用する事業、地域への集客や誘客を促進するイベント等に使っている。

□ 事務局

プール未設置校のひとつである公郷中学校のみイトマンスイミングスクールに委託している。水泳授業を含め、体育授業は体育担当教員が指導をしている。

(3) 令和7年度スポーツ関係事業（予定）について

● 概要説明

- ・事務局が資料3をもとに説明した。

● 審議・意見交換

- ・なし

(4) 横須賀市スポーツ推進計画の策定について

● 概要説明

- ・事務局が資料4、資料5をもとに説明した。

● 審議・意見交換

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたら、お願いいたします。

□ 委員

障害者に関わるスポーツについては、福祉の担当課が行うのか、それとも福祉部門と連携してスポーツ振興課で行うのか。

□ 事務局

役割分担が難しい部分はあるが、アスリート的なスポーツに関してはスポーツ振興課、障害者の方がスポーツを楽しむ、体を動かすというところは障害福祉課というところであるが、連携を図りながら進めていく。

□ 委員

健常者と障害者の垣根がないようなイベントや大会ができればと思う。

□ 委員

条例案の中で、市民の健康や障害者については触れているが、高齢者がいない。具体的に高齢者のスポーツにフォーカスすることは考えていないか。第8条の生涯スポーツというところと捉えるのかもしれないが、年齢を問わず、高齢者も体を動かして寿命を延ばしていくというところにも視点を向けていただければ。

□ 事務局

今後、パブリックコメントを行うので、ご意見があれば、パブリックコメントにてご意見をいただければ。

4 報告事項

(1) 「横須賀市が設置する学校に係る部活動に関する方針」の改定について

● 概要説明

- ・事務局が資料6をもとに説明した。

□ 委員

部活動に入る生徒には、得意ではないかもしれないけど、好きだから入る子もいると思う。地域や外部の指導者の場合、技術やレベルでの指導をしてしまう懸念はないか。また、外部指導者への研修等をしてほしい。

□ 事務局

私共も懸念している部分であり、スポーツでも文化活動でも、職業としてこの道に進んでいきたいという生徒もいれば、楽しみたいという生徒もいるので、生徒の気持ちを見

ていくという部分がポイントであると思う。ご指摘いただいた指導者の研修や報酬などの制度や仕組みを整えていく必要がある。まずは部活動を各種目協会との連携、部活動にはない種目もスポーツ協会にはあり、文化系の部活動もあるので、いろいろな方面からご意見をいただきながら考えていきたい。

☐ 委員

中学校は3年間しかないので、3年でいろいろ変わってしまうことが心配。何年間の計画で考えられているか。

☐ 事務局

令和8年度から令和13年度までの6年間を地域移行の実施期間として、国は示しているが、少しずつ段階的に生徒、保護者、地域の方に考え方をシフトしていただく必要がある。

平日に関しては、各学校でやるが、土日はいろいろな学校から先生が集まって、チームで行おうというところ。これまでは学校だけで行っていたが、いろいろな方の力やご意見をいただきながら、進めていきたい。

5 意見交換

☐ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、ご意見をいただければと思います。

☐ 委員

暑さが厳しくなり、熱中症が怖い。市民スポーツ教室については、十分気を付けながらやっている。

☐ 委員

北体育会館の空調を検討されているということだが、今後の予定や見通しは。

☐ 事務局

北体育会館は構造上、空調設備の設置が難しいとされていたが、床にパイプを通して、空気を流して冷やすという仕組みのものがあり、北体育会館で採用できないかを検討中。次年度の夏は難しいが、令和9年度の夏前に完了させることができればと考えている。

☐ 委員

障害者の方も一緒に参加できるイベントがあればいいと思うので、進めていただけるとありがたい。

☐ 委員

ピックルボールとモルックの体験会を学区でやり、ピックルボールの会を立ち上げたところ、障害者の方の参加が3分の1くらいあり、特性に合わせた楽しみ方をしていた。今後紹介していければと思う。

□ 委員

スポーツ推進委員の方には日頃からご協力いただき感謝している。

小学校での水泳指導については、クラス数が減り、指導する教員も減っているという現状がある。

ベ이스ターズやマリノスの学校訪問事業について、子ども達は楽しみにしているので、今後も継続してほしい。

□ 委員

少子化で学校対抗ができなくなるのは寂しい。小学生の孫は民間のスイミングスクール、バレーボールに通っている。

□ 委員

ジュニア育成の視点の中で、部活動の移行については、教育委員会でも課題が山積していると思うが、他の自治体と格差がないようにしてほしい。朝練や活動日数について、他市と差が生じると、競技力に差が出てしまう。

□ 委員

条例案や推進計画の中に障害者という単語がようやく入ってきたという思い。始めるきっかけはリハビリや余暇をどう過ごすかという方が8割で、そこから大会に出てみようという人、地域で楽しむ人に分かれるが、その時に地域で受け皿があるのはすごくうれしいこと。

今までは福祉で扱っていたが、ようやくスポーツとして、アスリートとして見ていくようになってきた。

これから先、スポーツとして、障害者のスポーツ教室も加えていただければと思う。

10月に全国障害者スポーツ大会が開催されるが、選手約80名の中で、横須賀から6名参加する。陸上で3名参加するが、不入斗公園の陸上競技場を利用する中で、指導していただいた成果。水泳、フライングディスクでも出場する。テレビでも放送される予定なので、ご覧いただければと思います。

- 以上で、審議が終了し閉会した。